



九州大学次世代研究者挑戦的研究プログラム

# MIRAI-SDGs プラットフォーム (創発の場)

本学博士課程に在籍する学生が取り組むSDGsへの課題解決にむけた  
学際・融合的な研究をオンラインで分かりやすく発信する  
「先進的な研究テーマ」ならびに「優秀な博士人材」のショーケース



ぜひ、**MIRAI-SDGsコンソーシアム会員**として  
MIRAI-SDGsプラットフォームへのご参加をご検討ください!!



# MIRAI-SDGs コンソーシアム 会員用ページおよび Slack (サンプル)

## ■MIRAI-SDGsコンソーシアム会員の閲覧ページ

### ▼会員専用ページ(サンプル)

※更に会員専用ページでは、研究概要、研究資料(サマリ)及び研究紹介動画をご覧になれます。

### 感情表現の交差点: 現代舞踊における身体と テクノロジーの融合

■■■■ ←氏名  
芸術工学府 芸術工学専攻

4 質の高い教育を  
みんなに 5 ジンダー平等を  
実践しよう 9 産業と技術革新の  
高度化を図ろう 11 住み続けられる  
まちづくりを

本研究は、現代舞踊における身体表現とテクノロジーの融合が、感情と芸術体験に与える影響を探究します。身体運動の美学と新興テクノロジーの相互作用を通じて、踊り手が感情をどのように表現し、観客にどのような感情体験を提供するのかを分析します。映像プロジェクション、バーチャルリアリティ、センサーテクノロジーなどの先端技術を活用し、身体とテクノロジーの複雑な関係を探求することで、芸術と科学の融合領域に新たな洞察をもたらすことを目指しています。

研究キーワード

日本舞踊 人間工学 AIテクノロジー



イメージ

### 感情表現の交差点: 現代舞踊における身体とテクノロジーの融合

■■■■  
芸術工学府 芸術工学専攻

研究概要

本研究は、現代舞踊における身体表現とテクノロジーの融合が、感情と芸術体験に与える影響を探究します。身体運動の美学と新興テクノロジーの相互作用を通じて、踊り手が感情をどのように表現し、観客にどのような感情体験を提供するのかを分析します。映像プロジェクション、バーチャルリアリティ、センサーテクノロジーなどの先端技術を活用し、身体とテクノロジーの複雑な関係を探求することで、芸術と科学の融合領域に新たな洞察をもたらすことを目指しています。

研究紹介動画

研究資料



イメージ

4 質の高い教育をみんなに

5 ジンダー平等を実践しよう

9 産業と技術革新の高度化を図ろう

11 住み続けられるまちづくりを




## ■博士学生との自由な質問・対話・交流

コミュニケーションツールとして、Slackによる博士学生のチャンネルを開設しています。

上記会員専用ページに掲載されてある研究概要や研究紹介動画をご覧の上、興味・関心のある研究に取り組んでいる博士学生とSlackを利用して質問や議論を自由に展開していただけます。

### ▼Slackによる対話画面(サンプル)



# 外部有識者からのコメント

## 朝隈 純俊氏

住友ベークライト(株) 副社長執行役員

文系、理系を問わず、全ての学府の学生が、SDGsの17目標の切り口で研究テーマを分類し、全てのテーマにアクセスできること、そしてslackを使って双方向コミュニケーションができるというのは画期的なシステムである。

専門性を深めていく中で、意識するしないに関わらず、自分の専門性の殻の中に入り込んでしまいがちだが、異なるバックグラウンドからの質問、意見、アドバイス等を聞けるということは、とても有益だと思う。

アクセスする側、される側の双方にとって、新たな発見や気づき生まれることが期待でき、発想をインスパイヤする機会を大いに得られると思う。まさに創発を実践するためのベースになると思う。

学問の進化においてもそうだが、社会、経済、環境など、我々の生活の中においても、複雑さが増大していく世の中において、持続可能性を担保することは益々重要になってくる。そのためには、物事を俯瞰的、客観的にとらえ、バイアスのないデータと事実をベースに思考することの重要性を訴えていかねばならない。そういった観点から、九州大学の本取組みには、大いに期待をするものであり、ぜひあらゆる分野で次代の日本ならびに世界を牽引する人材を育てていただきたいと願っている。

## 飯田 和利氏

株式会社エア・リキード・ラボラトリーズ 代表取締役社長

プラットフォームを覗かせていただきました。非常に充実していると思います。アカデミア(大学教育)の意味で、自分の研究・興味の発信力の強化、それに基づく他との交流、場合によってはコラボへの発展等が期待されるツールだと思います。また、企業からの観点では、企業の興味と一致する学生さんを発見するツールとなり得ると思います。

一方、企業がこのプログラムへの期待することは上述の共同研究の可能性の発見以外で、且つより重要なのは(High potential) Talentの発見です。もし、その探索の取っ掛かりとなるような情報、具体的に何が効果的か特定できませんが、例えば簡単な自己紹介的な情報、学問的・キャリア的・個人的興味の対象など、があれば、そのような(将来の採用)目的を持った企業はSlackへ進むのではないのでしょうか？

弊社のようなグローバルカンパニーには様々な国籍の多くの博士号取得者が働いています。彼ら・彼女らは博士課程修了に至るまでの過程で得た専門的な学問・経験はもちろんですが、それに加えて俯瞰力・問題解決能力・コミュニケーション力・リーダーシップ等の能力も非常に高く、これが結果として欧米の会社において博士号取得者が会社のトップに就く理由だと思われます。このコースの修了者には是非そのような貴重な人材になっていただきたいと思います。

# MIRAI-SDGs プラットフォーム参加に関するQ&A

Q1

**MIRAI-SDGs  
プラットフォームとは  
具体的にどのようなもの  
ですか？**

全学の博士課程「未来創造コース」に所属する学生が自身の研究内容に関連するSDGs課題毎のクラスに所属し、Web上で専門の異なる他分野の博士課程学生や教員、企業等外部の方と、既存分野の枠組みを超えて自由な意見交換、情報交換やブレインストーミングを行う新しいコミュニケーションプラットフォームです。

学生は、自身の研究内容とSDGs課題の関連を考え、解決すべき課題をレジメ及びYouTubeで発信し、オンラインメディア(Slack)を駆使して質疑や意見交換等を行うことで、専門性の殻を破るための機会を得ることができます。

Q2

**参加することで、  
企業等にとって  
どんなメリットがあるの  
でしょうか？**

MIRAI-SDGsプラットフォームで展開されるサマリや3MT\*1 動画を通じ、SDGs 課題解決のための新しいアイデアを得ることができます。

また、本学博士学生の研究内容を知ることができるほか、Slackやオンラインセッションを通じて、本学博士学生と自由に質問や対話、交流を行っていただけます。これにより、各企業における新しいシーズや、それを担う優れた博士人材を発掘することができます。

学生と各企業等の興味が一致すれば、インターンシップや共同研究\*2など、企業等にメリットのある連携可能性を広げることもつながります。

Q3

**参加申し込みに  
手続きはありますか？**

本プラットフォームへの申込書をご提出いただきます。その後、担当者よりアカウントを発行いたしますのでアカウント有効化してください。詳細は下記担当者宛にメールでお問合せください。

\*1 3MTは"3Minute Thesis"の略で、3分間で専門知識を持たない人にも理解できるよう、自分の研究等について発表を行うものです。

\*2 本学では、博士課程の学生が共同研究を主体的に実施する「博士課程学生就学・キャリア支援共同研究プログラム」も実施しています。

**SDGs課題の解決(solution)のほか、  
イノベーションのシーズや将来有望な高度人材の発掘に!**



■本件お問い合わせ先  
九州大学学務部学務企画課  
E-mail:jisecho@jimu.kyushu-u.ac.jp



九州大学次世代研究者挑戦的研究プログラム

**未来創造コース**  
Future-Creation (MIRAI) Course



**九州大学**  
KYUSHU UNIVERSITY